

HOME > 東京発表会を終えて

XSTUDIO 2018 note

XSTUDIO でプロジェクト創出に取り組むメンバー、リーダー、パートナー企業がそれぞれの視点から活動を記録し、思いを綴る実験ノート。

STUDIO A note

STUDIO B note

STUDIO C note

PROJECT



XSESSIONS

2021 PROJECT ARCHIVE

2020 PROJECT ARCHIVE

2019 PROJECT ARCHIVE

2018 PROJECT ARCHIVE

2017 PROJECT ARCHIVES

2016 PROJECT ARCHIVES

CONTACT

STUDIO C [企業] 荒川拓磨 2019.02.01

東京発表会を終えて



あっという間の時間だった。

伝えたいこと・伝えるべきことは伝えられただろうか。

緊張と興奮が絡み合った状態のまま、時間が過ぎてしまったような気がする。

今日は4か月間一緒に走り抜けたスタジオメンバーと共に、ひたすら「良さ」を追い求めて作っていったプロダクトたちのお披露目。そしてARAKAWA LACE LAB.の立ち上げの発表の場。

人それぞれ感じ方が違う「良さ」を来てくれた方と共有できるか？

ARAKAWA LACE LAB.の立ち上げを理解してもらえるか？

自分たちがやってきたことは無駄にならないか？

そんなことを考えながら発表会は始まった。

多くの方が来場され、熱気と視線にたじろぎ、その雰囲気圧倒された。

ダイジェストプレゼンで自分が話したことは、正直あまり覚えていない。

スタジオCのレビュアーは伊藤亜紗さん。

ラウンドセッションでは展示品を順番に説明する中でどれも真剣に話を聞いて下さり、伸びる地組織で作ったトートバックや地組織で作ったスポンジ体験をしてもらった。

伊藤さんからは「これらの作品に言葉は必要ない。」「アートの要素が強くあり、ショックを与えてくれるものもあってとても良かった。」とコメントをもらい、一つ一つのプロダクトに対しても「必ずしも分析的に見る必要はなく、分割してまるごと扱ってみる必要性がある。」とも言ってくれた。

伊藤さんからの言葉は自分たちのやってきたことが認められたようでとても胸が熱くなった。

ARAKAWA LACE LAB.を始動していく上でとても心強く感じ、自分の目の前に道が開けたような気がしている。



始めることに何も臆することは無い。

これから僕たちは

「レースの可能性を探求していく。」

「レースの良さを発信していく。」

「レースの可能性を探求し、良さを発信していくことで、暮らしの新たな可能性を拓いていく。」

そのチャレンジを僕たちはやっていく。

発表会を終えてそう決意した。

photo by Kyoko Kataoka

いいね！ 0

CONTACT



STUDIO C STUDIO C パートナー企業

荒川拓磨 荒川レース工業株式会社

PEOPLE

◀◀ PREV

STUDIO C Archive 過去のノート



STUDIO C 【メンバー】宮下友孝 2018.12.10

「つくるをつくる」

どんなにいいものも、ただ置いてあるだけでは何も生まれない。人と出会い、触れられ、感じられ、表現され、それが伝わることで、新たな人へ伝わっていき、その人がまた新たな気付…

MORE >



STUDIO C 【企業】荒川道子 2018.12.07

CONTACT

はじまる

XSTUDIOへの参加を決めてから、発表会の準備を進める今日まであっという間に時間が過ぎている。短期間ではあるけれど濃密な時間の中、STUDIOメンバー全員でひたすら手…

MORE >



STUDIO C 【メンバー】 尖 遼子 2018.11.11

ことばで伝える。

2週間ぶりの福井。まずはこの2週間で製作したものを配置することから始まった。手を動かして、動かして、進めてきた積み重ねは、どんなかたちであっても圧倒されるものがある。リ…

MORE >



STUDIO C 【メンバー】 高野 麻実 2018.10.28

共走し、共有し、共感する。

前回から1ヶ月、再び各地からみんなが福井市に集う。この間、それぞれの場所で交流があったり、オンライン上で日々やりとりがあったおかげで、すでに馴染みの顔ぶれだ。この日まで…

[MORE >](#)



STUDIO C [メンバー] 前田 裕斗 2018.09.24

手を動かすこと

9月、2度目の福井市を訪れた。いよいよ始まる XSTUDIO。メーカーに勤めながらも何かを作ったことのない自分が、「いいもの作ろう」なんて会社で軽々しく言えないな、とひ…

[MORE >](#)

さらに読み込む

CONTACT

f

事業名 福井とつながる対流拡大事業 主宰 福井市
協力

国立大学法人 福井大学 産学官連携本部、公立大学法人 福井県立大学 地域連携本部、株式会社福井銀行、株式会社福井新聞社

運営 株式会社福井新聞社、株式会社デザインスタジオ・ピネン

© 2025 未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト